

海外安全対策情報 2022 年第 3 四半期（7～9 月）

在ブルガリア日本国大使館

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）社会情勢

ア 政治情勢

道路建設関係者やエネルギー問題に関する市民団体によるデモが散発的に発生しましたが、治安への大きな影響は見られません。

イ 新型コロナウイルス情勢

9 月 8 日から適用されている保健大臣令が、累次の適用期間延長を経て 10 月 14 日時点も有効となっています。本保健大臣令においては医療機関等におけるマスク着用義務について定められていますが、入国規制や行動制限は特に設けられていません。

（2）治安情勢

ア 犯罪統計

ブルガリアの犯罪発生件数は近年減少傾向にあり、2021 年の犯罪総数は前年比マイナス 3.3%で、過去 10 年間で約 35%の減少となりました。しかし、その一方で、日本と比較すると依然として犯罪発生率は高く、人口 10 万人当たりの発生件数では、犯罪総数は日本の約 2.5 倍、殺人は約 5.1 倍、強盗は約 13.5 倍となっています。

イ 不法移民統計

内務省の発表によると、2021 年のブルガリア国内において検挙された不法移民は 10,799 人で、前年（3,487 人）の 3.1 倍と大幅に増加しました。

ウ 交通事故統計

内務省の発表によると、2021 年のブルガリア国内の交通事故発生件数は 6,080 件（前年比+370 件）、死者数は 561 人（前年比+98 人）、負傷者数は 7,609 人（前年比+488 人）でした。

欧州委員会によると、2021 年のブルガリアの人口 100 万人当たりの交通事故死者数 81 人で、93 人のルーマニアに次いで、EU 内ワースト 2 位です。

（3）邦人被害犯罪の発生状況

9 月下旬、午後 2 時頃に地下鉄ソフィア大学駅構内において自動券売機で切符を購入していた邦人旅行客が、目を離した隙に鞆を盗まれたという置き引き被害を 1 件認知しています。

2 テロ・爆弾事件発生状況

この期間中、テロ・爆弾事件は発生していません。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が被害に遭った事件は認知していません。

4 日本企業の安全に関する諸問題

ブルガリア国内における対日感情は基本的には良好で、日本人に対する差別行為はこれまであまり見られません。新型コロナウイルスは中国から持ち込まれたという思いや、長引くコロナ禍を背景としたストレスや不満の蓄積により、今後、中国人と日本人との混同も含め、アジア人全体に対する差別が顕在化してくるおそれがありますので、十分ご注意ください。